

# 平成 27 年度 施策評価シート

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが便利で安心して通勤通学できるように、また、高齢化の中で、高齢者等が社会参加できるように、「みんなの交通環境」の整備に取り組みます。</li> <li>・路線バス等については、二宮町地域公共交通計画に基づき既設バスルートを検証や新交通システムの検証(実験)運行等を実施します。今後の検討にあたっては、高齢者や障がい者をはじめ誰もが安全に安心して移動できるように、バリアフリーに配慮します。</li> </ul>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 道路の整備と管理	1	B
(2) 地域交通の充実	1	C
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンドタクシーとコミュニティバスについて、運行実績が設定した目標を下回る状況が続いており、抜本的な改善策の検討が必要となる。</li> <li>・道路改良維持補修の地区要望が増加しているため、対応策の検討が必要となる。</li> </ul>	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明	・地域の方々からもご意見をいただきながら、町と地域で公共交通を守っていくためのルール作りに取り組む必要があり、自動車交通の円滑化とともに、狭あい道路の拡幅や通学路の安全確保など、安全な歩行空間の確保が必要である。
	方向性	・実験運行等の交通施策は再編するにあたっての条件をルール作りの中で設定していく。 快適な道路網の充実を図るため、緊急性・必要性の高い路線より優先的に道路整備事業を推進していく。

◎最終評価者[庁内評価委員会]		
	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	町民の意見を反映しながら、まちづくりと交通環境の整備を一体とした事業推進を図っていく必要がある。	

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	都市整備課
基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(2) 道路の整備と管理
実施計画事業	1) 道路整備・管理事業 (No.66)

	予算事業名	事業費 執行率 (%)	総合評価
01	土木管理経費	99.4%	A
02	道路新設改良事業	70.7%	A
03	道路維持管理経費	92.4%	A
04	狭あい道路等拡幅整備事業	89.8%	A
05	河川維持管理経費	52.1%	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路、河川については、整備や管理についての町民要望、地区要望、議員要望等が年々、増加傾向にある。</li> <li>町内全体が、高齢化するなか、これまでの整備、管理では町民の理解は得られない。</li> <li>今や町民全体の合言葉になっている「お金が無いのは理由にならない」に対する対応を全庁的に考える必要がある。</li> </ul>		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業に対する妥当性、有効性、効率性に問題はないが、事業実施直後に実施箇所の要望が提出されることを考慮した場合、町民や地域との話し合いを深め、事業自体の理解を深めてもらう必要がある。</li> <li>道路、河川の整備や管理に関しては、優先順位を付けて実施せざるを得ないことを周知徹底していく必要性が高い。</li> </ul>

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も道水路を含めた土木施設の適切な維持管理及び改良に資するために、適切な事業執行と予算確保に努めていく。</li> <li>道路、河川の整備や管理に関しては、優先順位を付けて実施せざるを得ないことを周知徹底していく。</li> </ul>		

◎評価者[担当主管部長]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	既存道路の維持管理については、円滑かつ安全な交通を確保するため、多数の地区要望の中から最も必要な箇所を優先的に補修すると共に効率的な維持管理に努めていく。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(2) 道路の整備と管理		実施計画事業	1) 道路整備・管理事業 (No.66)
予算等事業名	土木管理経費			
目的	町道及び河川の維持管理、新設改良を行う。			
内容	町道の維持管理にかかる経費			
根拠法令・条例等	二宮町工事執行規則 二宮町道路構造等の基準を定める条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		元々予算が不足している。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		予算と人材の確保により。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 技術職を含めた適切な人材及び予算の確保により、事業の効率化を図る。			

## 総合評価

実績	委託事業等の執行。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				0
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	管理等については、目標数値の設定は困難である。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,638	3,454	4,215	4,190		
財源内訳	一般財源	3,638	3,454	4,215	4,190		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 基本的な土木管理経費であり、町が行うべき事業である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 基本的な土木管理経費であり、町が行うべき事業である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 毎年度の更新作業により、道路台帳も適切な状態に保たれている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 事業は効率的に執行できている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き効率的な事業執行に努めていく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ②改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④廃止
理由	町道を管理していく上で必要最低限の経費であり、今後も継続的に必要な事業である。		
今後の方向性	継続的な事業実施による町道の適正な維持管理を実施していく。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(2) 道路の整備と管理		実施計画事業	1) 道路整備・管理事業 (No.66)
予算等事業名	道路新設改良事業			
目的	町道及び河川の維持管理、新設改良を行う。			
内容	道路新設にかかる経費			
根拠法令・条例等	二宮町工事執行規則 二宮町道路構造等の基準を定める条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		元々予算が不足している。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		予算と人材の確保により。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 技術職を含めた適切な人材及び予算の確保により、事業の効率化を図る。			

## 総合評価

実績	改良工事や委託事業の執行。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				0
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	新設改良等については、目標数値の設定は困難である。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		9,500	7,602	34,149	24,156		
財源内訳	一般財源	6,750	5,002	25,765	15,772		
	国庫支出金			8,384	8,384		
	県支出金						
	その他	2,750	2,600				

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町道の新設改良事業は町が行うべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町道の新設改良事業は町が行うべきである。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 町道27号線は平成24年度末に歩道設置工事が完了し、通学路の安全が確保されている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 事業は効率的に執行できている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 稲荷谷の雨水対策も含め、必要な改良事業を継続する。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	年々増加している住民からの道路、河川、雨水排水等の要望に対し対応していくために継続的な実施が必要である。		
今後の方向性	年々増加している住民からの要望に対し対応していくために経費の確保が課題である。現在は、優先順位を付けて対応しているが、住民には全く理解されない。地区要望のあり方も含め全庁的な対応を考え直してもらいたい。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(2) 道路の整備と管理		実施計画事業	1) 道路整備・管理事業 (No.66)
予算等事業名	道路維持管理経費			
目的	町道及び河川の維持管理、新設改良を行う。			
内容	町道の維持管理にかかる経費			
根拠法令・条例等	二宮町工事執行規則 二宮町道路構造等の基準を定める条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		元々予算が不足している。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		予算と人材の確保により。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 技術職を含めた適切な人材及び予算の確保により、事業の効率化を図る。			

## 総合評価

実績	維持管理工事や委託事業の執行。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)				0
前期(27年度)目標値				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	維持管理等については、目標数値の設定は困難である。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		56,035	53,781	48,998	45,262		
財源内訳	一般財源	56,035	53,781	46,385	42,649		
	国庫支出金			2,613	2,613		
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町道の維持管理は町が行うべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町道の維持管理は町が行うべきである。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 適切な町道の維持管理に努めている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 事業は効率的に執行できている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 優先順位を考慮した適切な維持管理に努めていく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	年々増加している住民からの道路、河川、雨水排水等の要望に対し対応していくために継続的な実施が必要である。		
今後の方向性	年々増加している住民からの要望に対し対応していくために経費の確保が課題である。現在は、優先順位を付けて対応しているが、住民には全く理解されない。地区要望のあり方も含め全庁的な対応を考え直してもらいたい。		



# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(2) 道路の整備と管理		実施計画事業	1) 道路整備・管理事業 (No.66)
予算等事業名	狭あい道路等拡幅整備事業			
目的	町道及び河川の維持管理、新設改良を行う。			
内容	二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき拡幅整備を行う。			
根拠法令・条例等	二宮町工事執行規則 二宮町道路構造等の基準を定める条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		土地利用に伴う申請を受けての事業であり、執行の平準化が困難。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		工事や委託を取りまとめて発注し、事業の効率化を図る。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			B
	【説明】 工事や委託を取りまとめて発注し、事業の効率化を図る。			

## 総合評価

実績	物件補償、用地買収、拡幅工事の施工。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)	0			
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	拡幅整備等については、目標数値の設定は困難である。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		40,060	34,297	35,899	32,247		
財源内訳	一般財源	26,060	20,997	26,099	22,447		
	国庫支出金	14,000	13,300	9,800	9,800		
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町道のセットバック事業は町が行うべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町道のセットバック事業は町が行うべきである。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 建築行為等に伴い、長期的に行う事業であり、路線単位の拡幅には期間を要する。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 委託や工事の一括発注を行い効率化に努めている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も継続的にセットバック事業を行い、災害に強い街づくりを目指す。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	日々の住民の通行や緊急車両の通行に対し、一定の幅員がある道路の確保のために必要な事業であり、今後も継続して実施していく必要がある。		
今後の方向性	災害に強いまちづくりに寄与するためにも、今後も継続して実施していく必要性が高い。		

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課	
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(2) 道路の整備と管理		実施計画事業	1) 道路整備・管理事業 (No.66)
予算等事業名	河川維持管理経費			
目的	町道及び河川の維持管理、新設改良を行う。			
内容	町管理の河川及び水路等の維持管理にかかる経費			
根拠法令・条例等	二宮町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例			
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施
②、③に対する理由				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		管理する施設の範囲や構造が限定されており、これ以上の経費の削減は困難。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		予算と人材の確保により。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)			
	<b>【説明】</b> 技術職を含めた適切な人材及び予算の確保により、事業の効率化を図る。			

## 総合評価

実績	維持管理工事や委託事業の執行。			
中間評価との相違点				
事業指標(数値指標)	0			
前期(27年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	保全・管理等については、目標数値の設定は困難である。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		5,884	5,440	1,694	883		
財源内訳	一般財源	5,884	5,440	1,694	883		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 公共用の水路等の維持管理は町で行うべきである。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 公共用の水路等の維持管理は町で行うべきである。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	B
	【説明】 都市排水路等の維持管理は適切にできている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 効率的な事業執行に努めている。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 今後も町管理河川の適切な維持管理に努めていく。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)		

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	町民が生活をする上で、排水施設は必要不可欠なものであり、その排出先である河川等は、今後も継続して実施していく必要がある。		
今後の方向性	老朽化が進む施設の更新に対し、公共下水道整備と調整を行い、計画的な整備が必要である。		

平成 27 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	企画政策課
基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
分野別方針	(3) 地域交通の充実
実施計画事業	1) 地域公共交通計画推進事業(No.67)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	交通計画推進事業	74.8%	C
02	コミュニティバス運行事業	98.2%	B
03			
04			
05			

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズの調査をするため、地域との協議を実施</li> <li>・利用促進に向けた軽微な見直し</li> <li>・平成28年10月を目途に本格的な見直し</li> </ul>
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	説明	デマンドタクシーの実験運行と改変したコミュニティバス双方の検証中であるが、運行実績が設定した目標を下回る状況が続いており、抜本的な改善策の検討が必要な状況にある。

方向性	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施
<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	地域の方々からもご意見をいただきながら、町と地域で公共交通を守っていくためのルール作りに取り組む。

◎評価者[担当主管部長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施
<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	再編するにあたっての条件をルール作りの中で設定していく。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	企画政策課		
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備	
分野別方針	(3) 地域交通の充実		実施計画事業	1) 地域公共交通計画推進事業 (No.67)	
予算等事業名	交通計画推進事業				
目的	路線バス・コミュニティバスの再編・見直しや新たな乗合交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進めます。				
内容	二宮町の地域公共交通を検討する地域公共交通活性化協議会へ負担金を補助し、交通空白地域の確保改善に取り組む。				
根拠法令・条例等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 道路運送法				
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					
デマンド運行については相乗り促進を行うことにより事業費の経費削減が図られる。					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					
コミュニティバス及びデマンドのより効率的な運行を検討することにより、効率化が図られる。					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 コミュニティバス及びデマンドの利用者増を行うため、計画の一部見直しが必要である。				

## 総合評価

実績	協議会の開催 2回(平成26年6月26日、平成27年2月19日)				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	乗車人員				
前期(27年度)目標値	34人/日			【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	デマンドタクシーの1日の乗車人数(二宮町地域公共交通計画 需要予測値)	
	5.4人/日	7.3人/日			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		3,154	2,553	1,899	1,420		
財源内訳	一般財源	3,154	2,553	1,899	1,420		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 交通不便地域の公共交通を維持確保していく必要があるため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 民間交通事業者が主体となった運行は難しいため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 当初、想定していた利用予測を大幅に下回っているため、見直しが必要。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 デマンドタクシーは利用されなければ費用がかからないため、効率的ではあるが利用状況は少ない。コミュニティバスは利用者が少なく効率的な運行が出来ていない。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	C
	【説明】 利用状況の改善のため、見直しが必要	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者ニーズの調査をするため、地域との協議を実施</li> <li>・利用促進に向けた軽微な見直し</li> <li>・平成28年10月を目途に本格的な見直し</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
理由	デマンドタクシーの実験運行と改変したコミュニティバス双方の検証中であるが、運行実績が設定した目標を下回る状況が続いており、抜本的な改善策の検討が必要な状況にある。
今後の方向性	地域の方々からもご意見をいただきながら、町と地域で公共交通を守っていくためのルール作りに取り組む。

# 平成 27 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	都市整備課		
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	2. コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備	
分野別方針	(3) 地域交通の充実		実施計画事業	1) 地域公共交通計画推進事業 (No.67)	
予算等事業名	コミュニティバス運行事業				
目的	路線バス・コミュニティバスの再編・見直しや新たな乗合交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進めます。				
内容	公共交通空白地域・不便地域の解消を目的に、全ての町民が利用しやすいコミュニティバスを運行する。				
根拠法令・条例等					
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
			<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		コミュニティバスの運行は、神奈川中央交通(株)のみが受託可能なので、実質的に予算の削減は難しい。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		利用者拡大に向けて周知の方法について検討し、費用をかけずに効果的なPRを実施していく必要がある。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 二宮町地域公共交通活性化協議会で更なる協議を実施し、地域公共交通計画に掲げる目標値(100人/日)を達成できるよう周知を進めていく必要がある。				

## 総合評価

実績	通年でコミュニティバスを運行委託した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	乗車人員				
前期(27年度)目標値	100人/日				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
単位:					二宮町地域公共交通活性化協議会でのコミュニティバス運行継続の目安として100人/日掲げ、それ以下である場合は、デマンドタクシーへの切り替えを検討することになっている。
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	53.1人/日	38.0人/日			



事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		13,271	13,014	13,003	12,769		
財源内訳	一般財源	13,271	13,014	13,003	12,769		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 誰もが住みやすい町づくりを進めるためには、公共交通空白地域・不便地域の解消を目的として実施する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	C
	【説明】 バスの運行は専門的であることから委託することが必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	C
	【説明】 年度下の4か月目標値の50%程度の乗車数であることから、成果があがっているとは言い難い。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 町広報紙やホームページ等を活用し、費用をかけずに周知しているものの成果に繋がっていないため、違う方法も活用して周知する必要がある。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 25年度12月以降に路線変更を実施し、その事業内容周知を進めてきたが、浸透するまでには時間もかかり、実績は目標値を下回っている。公共交通空白・不便地域の解消を目的とするために事業を実施しているため、より徹底した周知を実施する必要がある。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	二宮町地域公共交通活性化協議会で更なる協議を進める。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	平成25年12月に、路線及び利用料金について再編を実施したため、実績が不確定の部分もあり、住民周知を徹底しながら継続的な実施をしていく。		
今後の方向性	平成25年12月に路線及び利用料金について再編を実施した。今後も住民周知を徹底するとともにコミュニティバス路線となる地域との協議を進め、廃止も含め今後のあり方を検討していきたい。		